

福島市職員 ひとり1改善・1改革運動 「かえるチャレンジ」



令和5年7・8・9月分
月間賞 受賞一覧





《改善》 収入状況申出書入力業務の RPA化

〈取組内容〉

これまでの業務フローを分析し、手処理での入力業務をRPAにより自動化することで、人的な処理工程が省略され処理全般に係る時間と負担を軽減した。

〈効果〉

- ・ 職員が処理すべき業務を絞り込むことができ、繁忙期全体の業務を前倒して行うことができた。
- ・ 処理完了時間を予測し、明確にスケジュールを組み立てることができた。

《改善》書かせない窓口（署名のみ記入）

〈取組内容〉

後期高齢者医療制度に関する申請書について、被保険者情報を紐づけしたexcelデータを作成して、申請書に住所・氏名などの情報を自動的に印字される仕組みとした。申請者は印字内容の確認と署名のみしていただき、記入項目を最小限とした。

〈効果〉

- ・ 申請者は高齢の方が多いため、記入に要する負担が減った。
- ・ 職員は記入箇所の説明などの事務負担が減った。
- ・ 窓口対応の時間が短縮され、内部で行う業務時間が増えた。

《改善》 投開票事務研修を動画化しました！

〈取組内容〉

選挙の投票・開票事務に従事する職員に対して、対面での研修をオンライン視聴（動画）での実施に切り替えた。動画内の音声説明には無料の音声読み上げソフトを使用した。

〈効果〉

- ・事務局の負担が軽減された。
（会場費、研修の準備、研修出席者への時間外手当支出など）
- ・研修参加者は、①会場へ参集しなくてよい ②開催日時に縛られることなく自身のタイミングで研修が可能 ③繰り返し視聴が可能 等のメリットがある。

《改善》 杉の葉で叶うツバメの糞対策

〈取組内容〉

ツバメの巣の糞害により、床面の清掃に時間を費やしていたため、その対策としてツバメが活動する前に、既存の巣へ鳥獣に優しい異物(杉の葉を丸めたもの)を入れ、ツバメ自体を巣の中に入れない仕掛けを試みた。

〈効果〉

- ・ 令和4年度は、年間5回程度の床面清掃に加え、コンプレッサーを使用していたが、令和5年度は清掃が不要となった。
- ・ 既存の巣12個のうち、糞による床面の汚れや市民からの苦情は一切なかった。新設の巣も確認されていない。

《改善》 小さな気づきで大きく変わる！！ 介護資格係・データ活用による 業務改善取組パッケージ3選

〈取組内容〉

3つの事務について、現在の業務フローを見直し、手作業で行っていた作業を効率化した。

- ・ 業者より納品されるデータ項目の見直し
- ・ データの突合作業はExcelの関数を活用
- ・ 複数のデータを組み合わせて時間のかかる手作業の工程を自動化

〈効果〉

- ・ 作業省略により業務量が削減された。
- ・ 自動化されたことで判断ミスが無くなり、市民サービスの向上につながった。

《改善》 収納代行サービス（イベントペイ） の導入による交流会会費の事前徴収

〈取組内容〉

交流会の会費を当日現金での徴収から事前徴収へ変更した。

支払いは、銀行振込とイベントペイ（クレジットカード決済・コンビニ決済）とした。領収書発行についても、希望者のみとし、簡略化した。

〈効果〉

- ・ 約70名が参加。受付の待ち時間が縮減されスムーズな対応ができた。
- ・ 受付担当職員を8名から3名に削減し、旅費や時間外勤務手当が削減された。
- ・ 支払方法の多様化により参加者の利便性が向上した。
- ・ 先払いのため当日キャンセルなどのトラブルが無くなった。

《改善》 飯坂町財産区温泉供給事業にかかる温泉使用料の収納管理及び滞納整理業務の効率化

〈取組内容〉

庁内で募集しているシステム内製化の取り組みを活用し、複数のExcelで管理していたデータをAccessに移行した。

〈効果〉

- ・ 現年度分及び過年度滞納分の収納管理、徴収管理の事務を一元管理できる。
- ・ 年度切り替え時期の調定処理や督促状作成、必要情報の抽出作業等ができる。
- ・ 事務の煩雑化が解消され、担当者以外の職員も事務を行える環境となり、業務負担が軽減された。

《改善》 広報に関する集約業務の Access化

〈取組内容〉

庁内で募集しているシステム内製化の取り組みを活用し、広報に関する集約業務のAccess化を図った。（年間広報計画集約、週間広報日程集約）

〈効果〉

- ・ 集約などにかかる広報担当者の作業時間が削減された。
- ・ 担当課が随時入力、確認できる体制となった。